

平成29年度 議会事務事業評価結果表（平成28年度決算分）

委員会名	総務教育常任委員会	委員長名	大西 健一
事業名	児童クラブ運営事業		

評価区分	拡 充
審査の経過	<p>核家族化の進行や共働き家庭の増加により、児童クラブの必要性は今後ますます高まっていくとの認識は委員全員に共通しており、待機児童も発生していることから、量の確保を図るため、児童クラブの増設など、ハード面での環境整備を求める意見が多くあった。</p> <p>また、支援員については保育士や幼稚園教諭などの資格要件があることや勤務時間が遅い時間帯に及ぶため、現状においても人員確保に課題があることから、支援員及び補助員が余裕を持って指導できる労働環境の充実を求める意見があった。さらに、障がいのある児童にも十分な対応ができるよう、支援員研修の充実や専門的知識を有する支援員の加配を求める意見があった。</p> <p>改善・提案内容として、「幅広い年齢の児童がいる中で、支援員には高い指導力が求められることから、さらなる研修の充実が必要である」「児童の親世代や大学生への呼びかけ、柔軟な勤務体制の検討を求める」「賃金拡充と退職教員の活用を提案する」「児童クラブ間でのサービスレベルに差が生じないように、客観的に評価できる仕組みの構築を求める」「保育のノウハウを持つこども部への事業の移管を提案する」などの意見があった。</p> <p>委員会は、審査の結果、全会一致で「拡充」の評価と決定した。</p>